

令和7（2025）年度第3回宇都宮地域医療構想調整会議

令和7（2025）年度第3回宇都宮地域医療構想区域病院及び有床診療所等会議 議事録

- 1 日時：令和8（2026）年3月17日（月）19時00分から20時30分
- 2 場所：栃木県庁本館6階大会議室1、オンライン（Microsoft teams）
- 3 出席者：宇都宮地域医療構想調整会議委員
宇都宮地域医療構想区域病院及び有床診療所等会議構成医療機関
事務局（栃木県医療政策課、宇都宮市保健所）

4 議事：

議題（1）現行の宇都宮地域医療構想の評価について【資料1】

（事務局：医療政策課）資料1に基づき説明。

《質問、意見等 特になし》

議題（2）宇都宮構想区域対応方針に基づく取組について

（在宅医療データ分析結果報告）【資料2】

（事務局：医療政策課）資料2に基づき説明。

（NH0 栃木医療センター 石原委員）

- ・データを見て驚いたのは、圏域を越えて大学病院へ行くのが非常に多いということである。大学病院に入院で当然というような状態の患者であればよいが、そうではないような患者を、圏域を越えて大学病院に入院となっているということだとすると、大学病院を圧迫している形になるため、大学病院への患者についてはその内容を精査したほうがよいと思う。

議題（3）今後の地域医療構想の進め方について【資料3】

（事務局：医療政策課）資料3に基づき説明。

《質問、意見等 特になし》

議題（4）外来医療計画に基づく取組状況について【資料4】

（事務局：医療政策課）資料4に基づき説明。

（松本議長）

- ・宇都宮医療圏では、済生会宇都宮病院、NH0 栃木医療センター、NH0 宇都宮病院及び県立がんセンターが紹介受診重点医療機関となっている、来年度も引き続き、これらの医療機関を紹介受診重点医療機関とすることに異議はないか。

（各委員）

《異議等の発言 特になし》

（松本議長）

- ・特に異議等がないため、引き続き、4病院を紹介受診重点医療機関とする。

議題（５）かかりつけ医機能報告制度の協議の場について【資料５】

（事務局：医療政策課） 資料４に基づき説明。

《質問、意見等 特になし》

議題（６）県立病院のあり方検討有識者会議の検討状況について【資料６】

（事務局：医療政策課） 資料６に基づき説明。

（白石アドバイザー）

- ・NHQ 栃木医療センターは今、産婦人科医がいなく、がんセンターは婦人科だけががんを特化している状況であるが、周産期医療については新県立病院の中に追加しないのか。

（事務局）

- ・周産期医療をはじめとした個別の診療機能に関しては、今後、新年度に立ち上げる基本構想策定委員会において議論を深めていきたいと考えている。その前提として、現在の各医療機関の医療機能などを踏まえて検討を進めて参る。
- ・当該委員会での検討において、様々な関係機関の意見なども頂戴したいと考えている。

（小沼アドバイザー）

- ・有識者会議の議長でもあることから発言する。
- ・県立病院あり方検討有識者会議においては、やっとな県立病院と NHQ 栃木医療センターが合併して新県立病院になることを目指すという大枠の方向性が決まっただけで、診療科や整備場所をどうするかについては今後の会議に委ねられている状況である。

（宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 金構成員）

- ・実質は NHQ 栃木医療センターとがんセンターの統合であって、精神科とリハビリは現状維持ということでよいのか。
- ・診療科などの議論は今後、とのことであるが、分野別に需要と供給を検証する必要があると考える。当然医師の供給ができるのかということも大事であるし、将来的にどのような医療がトレンドになっていくかも考える必要がある。
- ・また、「健全な経営」ということであるが、これは黒字の経営を目指す法人を作るといふことか、それとも県の財政負担で県民のための医療提供を行うことを目指すといふことか。

（松本議長）

- ・有識者会議では少し道筋を整理した段階であり、具体的な内容については、今後の議論の中で決めていく必要がある。

（事務局）

- ・有識者会議は、現在のメンバーを基本としまして、さらに県民の声を踏まえるという意味で県議会やその他関係団体の代表者の方にご参加をいただいて、基本構想の策定を進めていきたいと考えている。その中では、先ほども指摘をいただいた診療機能や整備場所、病床規模などについても細かく決めてまいりたいと考えている。また、具体的な診療機能に関しましては、そのすべてを策定委員会の方で決めるということも難しかならうと思っいるため、検討体制については関係診療科の先生方にも御参画いただけるようなかたちも検討する必要があると考えている。新年度に向けて準備を進めているところなので、決まり次第、改めて説明させていただく。
- ・経営の部分に関しては、経営の効率化というところで、先ほど説明をしたとおり、法人の統合等も踏まえた上で、ぜひ黒字を目指したいところであるが、公立病院に対しては、従来から一定の基準により、一般会計から資金を投入しているところである。その繰出金も踏まえた上で黒字化ができればよいと考えているが、それも含めて、今後、策定委員会でご意見を頂戴したいと考えている。

(宇都宮脳脊髄センター・シンフォニー病院 金構成員)

- ・他県の例では、スタッフの人員不足により構想されたような機能を全く果たされていないというような事例もあると聞いている。
- ・スタッフが十分に供給されるのかということは重要なことであるため、その点をよく考ながら進めていく必要があると考える。

(松本議長)

- ・本日は、あくまでも有識者会議における協議状況の説明であり、新県立病院の具体的な内容の決定に至るまでは様々な検討事項があるため、いただいたご意見も踏まえながら今後の検討が進んでいくものと考えている。

議題（7）その他【参考資料】

（事務局：医療政策課） 参考資料について、情報提供。

《質問、意見等 特になし》

(松本議長)

- ・地域医療構想アドバイザーである、県医師会の小沼会長及び白石常務理事から御助言等を頂戴したい。

(白石アドバイザー)

- ・全県的には今後人口減少が進んでいくが、宇都宮は他の地域に比べ人口減少が緩やかであり高齢者増が続くことから、最後まで医療需要に対応していく必要がある。
- ・ただ、宇都宮地域は東京からアクセス性が高いことから、在宅医療に関わる医師も東京から来ていて様々なことをやられているということを知っており、うまく回っているかと思

う。

- ・さらに、この県立病院の再整備もあるので、ぜひ協力しながらやっていただければと思う。本日はどうもありがとうございました。

(小沼アドバイザー)

- ・県立病院に係る議題の中で、一つだけ事務局が答えていないことがあったため補足する。有識者会議の中では、精神科病院については、整備場所はいずれにしてもなくせないのでも今後も残す方向だろうということであった。
- ・栃木県は財政的にもなかなか大変だと思うが、みんなで力を合わせて頑張りましょう。

議事終了

以上